

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぽっぽハウス			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日 ~ 2024年 12月 25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日 ~ 2024年 10月 21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 21日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービス事業所と多機能型として運営しています。また、学年が上がることで同じ法人内で別の事業所に移動し利用することで、長期的な目標で将来に向けた一貫性のある支援を提供することができます。	放課後等デイサービス事業所としての経験から就学時に大切で必要なことを提案し、そのスキルを養うことができます。また、多機能型で運営していますので、就学しても同一職員と同じ場所で過ごせて戸惑うことがありません。	子ども一人一人の障がいの状態及び発達の過程・特性に応じた支援を提供していきます。
2	職員の配置人数多く、専門職を配置し行き届いた支援を行っています。活動は、「自由あそび」「設定あそび」のメリハリがついています。また、研修部提案の専門職員による研修会などを定期的に行っています。	専門的支援の実施（サーフィンや感覚統合療法やビジョントレーニング）を行っています。支援については、スタッフ会議やケース会議等で検討し職員間で情報共有をしっかりと行い統一した支援を行っています。また研修会で学んだことを活動の中に取り入れています。	様々な遊びや体験活動の機会を提供して、姿勢や運動・動作などの基本的技能、コミュニケーションの基礎的能力を養います。
3	建物は、放課後等デイサービスを行うために建てられているので、バリアフリーで活動しやすいです。清潔で心地よく過ごせる環境です。	向かえに公園もありますので、外遊びも取り入れて療育を提供しています。	安全に十分注意して、楽しく意義のある療育を行なっていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流がありません。	就労している保護者が多く、開催時間などの設定に難しさを感じています。	参観日や茶話会など、保護者が参加できる行事を提案していきます。
2	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、面談や助言を行っていますが、定期的には行えてません。	家族等から連絡をいただいたときは、必ず相談に応じていますが、定期的に行うには、就労している保護者が多く難しさを感じています。	今後、定期的に行うよう取り組んでいかなければと考えています。
3			